



防災だより

緑ヶ丘地区防災連絡協議会	
発行日	令和3年11月25日
発行No	R03-03
発行責任者	鈴木 忠好
編集責任者	渡邊 進
編集副責任者	飯田 哲也

1. 令和3年度（第9回）防災訓練について

1) 訓練内容

今年度の防災訓練は、10月17日（日）コロナ禍のため昨年に引き続き参加人数を制限し、防災協理事・顧問を始め、安心・安心な地域づくりを推進指導して頂きたい立場の方々（各町内会長・事務局、民協・社協等、地域主要団体代表者）更に、地元市議会議員、小中学校長、幼保園長、東部駐在所長、公民館長の参加を頂き、62名で防災講座を中心に実施致しました。

講座は、昨年に続き郡山市防災危機管理課・斎藤茂防災危機専門官にお願いし、初めに水害、台風、地震等の発生要因、仕組み被害状況、それ等に対する備えが説明され、ハザードマップ特に、郡山市が配布している「わが家の防災ハンドブック」の活用が強調されました。

次に、過去・近年に発生した身近な風水害・災害、特に令和元年10月の台風19号の被害状況が説明され、緑ヶ丘地域は、地震・水害等の直接的な被害には比較的強いが、台風19号では緑ヶ丘から市内に通じる阿武隈川に架かる橋が全て不通となり、市内への唯一の交通手段は磐越道・郡山東ICを経由した方法のみであった事、また、重ねて風水害・地震・火災への備え、避難等について一時間半に亘り講演を頂きました、貴重な講演を頂いた斎藤専門官に改めて、感謝申し上げます。

なお、当初、講演会後に予定した室内火災時の消火実演、油鍋火災時の消火方法模擬実演は雨のため中止となったため、急遽、防災協・穴戸顧問、二瓶顧問から消火器の使用方法、火災事例、火災への備え等について説明を頂きました。

また、講演会場には、防災用品、備蓄品、パネル等を展示、特に今年度は郡山市から提供された避難所で使用する段ボールの簡易ベット・間仕切り等も展示され好評でした。

本訓練にご協力を頂いた皆様に感謝申し上げますと共に、今後、講演会等で得た知識を各団体の会合等で広めて頂き、地域防災力向上に更なるご協力を賜ります様お願い致します。

2) 訓練の総括

防災訓練後の防災協理事会では、全体的に有意義であったと評価されたが、今後の問題として、緑ヶ丘地域での災害対策は火災対策が最重要課題で火災警報器・消火器の設置率向上に向けて更なる対策が必要であること、また、子供達の防災意識向上対策として、子供消防隊、子供の法被姿でのパレード等が提案されました。

2. 広報「こおりやま」12月号、27ページ「We Love Koriyama」ひとまちストーリー に緑ヶ丘地区防災連絡協議会の活動が紹介されました

広報「こおりやま」に防災協・鈴木忠好会長へのインタビュー、理事の集合写真、出前講座・展示コーナーの様子等が紹介されましたのでご覧ください。また、巻末の取材ノートには「地域を守るとする熱意と地域の団結力に感銘を受けた」とあります。今後とも地域の皆様のご協力を得て、更に「自助・共助」の精神を尊重した活動を続けて参りましょう。防災協は、そのための企画を行い、実行は、連合会組織を中心に各団体の協力・連携により行われますので、よろしくお願い致します。なお、今回の広報「こおりやま」に掲載された写真は、緑ヶ丘ふれあいセンターの廊下にも掲示、また、「防災だより」は緑ヶ丘地区町内会連合会のホームページにも掲載しておりますのでご覧ください（連合会HOME → 防災連絡協議会で検索）